

天塩川水系の特徴と課題

洪水対策

・流域が細長く、市街地及び主要交通路（JR、国道）が近接している。また、市街地の堤防は概成している。

大規模な引き堤や嵩上げは困難。

- ・テッシ、産卵床の保全に配慮した河道掘削による対応。
- ・洪水調節施設による対応。（岩尾内ダム S46 年完成、サンルダム H5 建設着手）

河川の利用

- ・カヌー等の利用に対し適切に配慮。
- ・旧川の河川公園としての利用を図る。

豊かな河川環境の保全

- ・優れた景観を有するテッシの保全。
- ・サケ、マス等の遡上、産卵環境の保全。
- ・中下流部に多く存在する旧川の自然環境の保全。

基本高水流量のピーク流量と計画高水流量

基準地点 誉平

基本高水のピーク流量 $6,400 \text{ m}^3 / \text{sec}$

検証

流量確率評価から、 $4,900 \sim 6,500 \text{ m}^3 / \text{sec}$

既往洪水の実績から、 $6,400 \text{ m}^3 / \text{sec}$

以上から現計画を踏襲

計画高水流量 $5,700 \text{ m}^3 / \text{sec}$

正常流量

基準地点 美深橋

正常流量 概ね $20 \text{ m}^3 / \text{sec}$

天塩川における現状、特徴及び課題

洪水対策



流域が細長く河川沿いに市街地や主要交通路などが存在する



S56.8 国道 40 号の決壊状況 (中川町)



S48.8 おといねっぶ 音威子府村の浸水状況



S48.8 なよろ 名寄市十線川の溢水氾濫状況



S50.8 おといねっぶ 音威子府村の浸水状況



S50.8 なかがわ 中川町の浸水状況



S50.8 びふか 美深町の浸水状況



S56.8 なよろ 名寄市の浸水状況



S56.8 浸水した農家 (天塩町)

昭和 48、50、56 年洪水

・^{概観} 警平地点における既往洪水の概要

	S48.8	S50.8	S56.8
観測流量	3,210m ³ /s	2,790m ³ /s	3,760m ³ /s
家屋被害	1,261 戸	2,642 戸	546 戸
氾濫面積	12,775ha	11,640ha	15,625ha

流域の特性

上流部 (直轄管理区間～名寄川合流点、名寄川)

- ・氾濫原である名寄盆地には、道北の拠点となる名寄市や士別市が存在し、人口、資産が集中している。
- ・名寄川にはサケ、マス等の産卵床が存在している。

中流部 (名寄川合流点～^{としかんべつ}問寒別川合流点)

- ・いくつもの狭窄部と山間の平野部が連なり、狭い背後地は主に市街部として利用されているが、洪水時には道路の寸断等が発生している。
- ・テッシや連続した河畔林が存在している。

下流部 (問寒別川合流点～河口)

- ・泥炭地が広く分布する氾濫平野が広がり、大規模な酪農地帯となっている。

河道と洪水調節施設で対応

- ・天塩川及び名寄川では河川沿いに市街地や主要交通路 (JR、国道) が近接している。このような流域の特性から、堤防の嵩上げ、引き堤は、大規模な土地利用の改変を伴うため極めて困難である。

- ・大規模な河道掘削はサケ、マス等の遡上、産卵に影響をおよぼし、天塩川のシンボルとして良好な河川環境を有しているテッシの保全のため困難である。

- 流下能力不足箇所の河道掘削
- ・サケ、マス等の産卵床や「テッシ」の保全に配慮

洪水調節施設の整備

- ・岩尾内ダム (S46 年完成)
- ・サンルダム (H5 年建設着手)

天塩川における現状、特徴及び課題

河川の利用



天塩川 100 マイルカヌーツーリング
「ダウン・ザ・テッシ - オ - ベッ スペシャル」 ゴール地点



河口から約 160km に位置する頭首工と広大な水田地帯

河川の利用

・約 160 km に及び堰等の横断工作物が無く、カヌーがポテージ（陸に上がる）することなく下ることのできる距離としては日本一であることや、テッシ、豊かな河畔林の存在など、良好な河川環境を有しているため、北海道内外のカヌーイストを魅了するカヌーのメッカとなっている。

上流部（直轄管理区間～名寄川合流点、名寄川）

・天塩川の恵みを受け、稲作、畑作の盛んな一大農業地帯が広がっている。

中流部（名寄川合流点～問寒別川合流点）

・ショートカットによって出来た旧川が多く存在し、河川公園などに利用されている。

・旧川を利用したチョウザメの養殖研究が行われている。

・サケ、マス孵化場にて、放流事業が行われている。

下流部（問寒別川合流点～河口）

・河口部は全国有数のヤマトシジミの産地である。

カヌー等の利用に配慮した河道の整備。
カヌーポート等の整備。

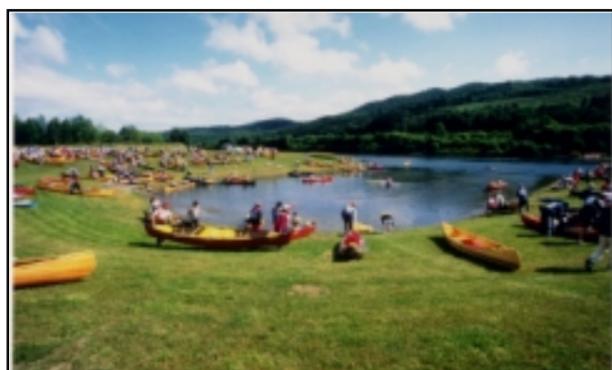
旧川の河川公園としての利用
閉鎖性水域の水質対策。



全国からカヌーイストが集まる



河口部 増殖のためのサケの捕獲



びふか
美深町に整備されたカヌーポート



旧川を有効に利用し河川公園へと姿を変えた



河口部 天塩町でのシジミ漁

天塩川における現状、特徴及び課題

豊かな河川環境の保全



天塩川の名の由来となったテッシおんねない(恩根内)



テッシを乗り越えるカヌーイストもんぼない(紋穂内)



産卵のため支川名寄川に遡上したサケ



河畔林が連続して形成され蛇行する中流部



豊かな河川環境を創出する河畔林



貴重な高層湿原「サロベツ原野」



中下流部に多く存在する旧川ほろのべ(幌延町)

豊かな河川環境の保全と環境に配慮した河川整備

・岩が「^巖稜」のような形に川を横断していることから、天塩川の名の由来となり、周辺の環境と相まって優れた景観を有する「テッシ」(アイヌ語)が存在する。

・流域にはミズゴケ等が広く分布し、^{リトリレバ}利尻礼文サロベツ国立公園に指定されている貴重な高層湿原、「サロベツ原野」を抱える。

・サケ、マス等が遡上し、産卵床が各所に存在している。

・ヤナギ群落を中心とした河畔林が連続して存在しており、魚類や鳥類の生息の場となっている。

河川の水質

・天塩川の水質は、中川環境基準点で0.7mg/l (BOD75%値)と、基準値以下であり、全国的に見ても清流である。(平成12年度値)

・旧川の水質は、流入河川の汚濁等で富栄養化が進んでいる。

天塩川にとって貴重な財産である「テッシ」の保全。

サケ、マス等淡水魚をとりまく河川環境の保全。